



2022年9月20日



発行 法人慶應義塾大学
理工学部同窓会
〒223-8522
横浜市港北区
日吉3-14-1
TEL 045(562)4747
FAX 045(561)7594
発行人 落合正行
印刷所 あづま堂印刷(株)

総会・矢上祭・テクノモールのお知らせ

今年の連合三田会大会(10月16日(日))は、対面とオンラインを融合させたハイブリッド連合三田会大会として開催します。詳細については、慶應連合三田会大会サイト(<https://2022.rengomitakai.jp/>)をご確認ください。同日に予定されておりました理工学部同窓会総会および特別講演は、2021年度と同様にデジミタのサイト内でWeb上での開催となります。今年度の特別講演は、本塾大学教授・小池康博氏(35期応化)による講演を予定しています。

また、矢上祭につきましては、9月24日(土)・25日(日)に対面での開催を予定しております。3年ぶりの対面開催となりますので、奮ってご参加ください。

今年度の慶應テクノモールは、12月2日(金)に東京国際フォーラムでの対面での開催を予定しております。慶應テクノモールも3年ぶりの対面開催となります。最近の理工学部の研究成果が展示されており、また説明内容も非常にわかりやすくなっています。当日には興味深いイベントも行われることになっておりますので、ぜひお立ち寄りください。

対面授業解禁

慶應義塾では、理工学部危機管理本部の指針により、矢上キャンパスにおける活動制限指針をレベル1～レベル5に対応付けています。塾内でのコロナ感染や社会情勢などを鑑みて、今年度は警戒レベルが一番低いレベル1と判断されました。警戒レベル1では、教室定員の100%の対面授業実施可能、研究室での会議室・教室予約可能、感染防止措置をしたうえでの学外団体イベント可能となります。それ以外にも、レベル2で与えられていた権限が有効になります。それに伴い、2022年度より理工学部の授業が対面授業となりました。昨年度も履修者数が少なく学生間の距離を十分に取れる科目については対面授業が行われていましたが、今年度からはすべての授業で対面授業実施が可能となりました。ただし、まだマスク着用および手指消毒は行う必要があります。大学が本来の姿に戻ってきた感じがします。現在の学部3年生はコロナ禍での大学入学でしたので、これまでの2年間は履修者の多いクラスや学科全員を対象とする授業はすべてオンラインとなっていました。対面により同じ空間で授業を受けることにより、はじめて学科の中での友人や人脈ができるので、ようやく大学生としての第一歩を踏み出した感じがあります。

また、主に研究室配属になった学生に関連することですが、塾生の国内出張(移動)が認められることになりました。言い方を変えると、大学院生および学部4年生の学会出張や研究室のゼミ合宿が認められることになりました。もちろん、義塾新型コロナウイルス対策本部「塾生の宿泊を伴う教育研究活動について」および「塾生の宿泊を伴う教育研究活動における感染症対策ガイドライン」のルールに基づいて実施することが条件となります。この連絡を受けて、春学期の打ち上げやゼミ合宿をどうするかなど、各研究室で話題になってい

たようですが、6月後半からのコロナウイルス再拡大の状況を受けて、せつかくの企画に慎重論が出ているようです。感染対策と実際の活動のバランスをどう考えていくか、もうしばらくは悩ましい状況が続きそうです。

理工学部同窓会奨学生

理工学部同窓会では、将来の理工学部を担う学生に対する支援として奨学金制度を制定しています。今年は15名の学生が同窓会奨学生として採用されました。各奨学生から採用に対して以下のようなメッセージをいただきました。

●この度は理工学部同窓会奨学金に採用していただき嬉し
い限りです。物価が高騰する中で金銭的不安なく研究活動を
過ごせることのありがたさを実感しており、奨学金を文字通り
糧として今後も励んでいきます。(機械工学科4年)

●この度は貴奨学金に採用していただき、心より感謝申し上げ
ます。現在かねてからの目標であった再生医療の研究に取り組
んでいます。今後も留学等を含めさらなる挑戦と成長をし、社
会へ貢献できるよう精進いたします。(機械工学科4年)

●理工学部同窓会奨学金に採用していただき、ありがとうございます。
私は応用化学科に所属しており、有機化学に興味があり
ます。この分野を中心に学び知識だけでなく「化学を応用
する」という部分を身につけたいです。(応用化学科3年)

●この度は理工学部同窓会奨学金に採用していただき、誠にあ
りありがとうございます。父からの養育費が途絶え、経済的に困窮
していたため、大変感謝しております。今後も将来の夢に向かい、
真摯に学業に取り組んでいきたいです。(応用化学科2年)

●この度は、理工学部同窓会奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。いただいた奨学金のおかげで経済的な不安を抱えることなく勉学に励むことができます。化学分野を幅広く学び研究開発を通して社会に貢献していきたいと思っております。(応用化学科3年)

●奨学金にご採用いただき、誠にありがとうございます。ようやく大学の授業もほぼ対面授業になり、実験の授業も実際に班で行えるようになりました。これからも物理現象の本質を探究していきたいと考えています。(物理情報工学科3年)

●理工学部同窓会奨学金に採用していただきありがとうございます。私が支援を得て母の負担を減らし、また、弟の分にもお金がちゃんと回るようにしたいと思っています。期待に応えられるよう、精一杯努力します。(物理情報工学科2年)

●この度は理工学部同窓会奨学金の奨学生としてご採用いただきまして誠にありがとうございます。今後より一層数学に励み、数学、ひいては人類の文化の発展に寄与する決意を新たにしております。(数理科学科4年)

●この度は、理工学部同窓会の皆様より奨学金のご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。精一杯、理工学部での勉学に励み、卒業後も社会の一員として慶應義塾大学理工学部の名に恥じぬよう努力いたします。(数理科学科4年)

●この度は理工学部同窓会奨学金に採用していただきありがとうございます。おかげさまで金銭面での不安が軽減され、勉学に専念できます。今後も数理学の能力を高め、応用する情報技術に関する研究に励んでいきます。(数理科学科4年)

●理工学部同窓会の奨学金で支援をいただくことで、アルバイトのみでなく、勉学を中心とした学生生活全般に力を入れることができます。とてもありがたいです。社会・世界に貢献できる人材になれるよう、より一層の努力をしていきます。(化学科2年)

●この度は、理工学部同窓会の奨学生に採用していただきありがとうございます。私は、AIを用いた画像処理に興味があり、その研究をしたいと考えております。今後も勉強に励みますので、よろしく願いいたします。(情報工学科3年)

●この度は理工学部同窓会の奨学生としてご採用いただき、心より感謝申し上げます。私は両親の疾病により経済的に厳しい状況にありましたが、ご支援を糧により一層研究活動に努めてまいり所存です。(情報工学科4年)

●私は現在理工学部4年生であり、来年度に慶應義塾大学大学院に進学する予定です。そのため、本奨学金で得た奨学金は来年度以降の学費に充当しようと思っております。奨学生に採用していただきありがとうございました。(情報工学科4年)

●この度は理工学部同窓会奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。皆様のご支援のおかげで今の学生生活があるということを忘れず、社会に貢献できる研究者になるために今後も一層努力してまいります。(生命情報学科3年)

理工学部長と研究科委員長の機能分離

大学1年から4年までを学部といい、修士課程と博士課程を合わせたものを研究科と呼んでいます。学部および研究科の最高責任者をそれぞれ学部長、研究科委員長といます。理工学部長は2年に1回の学部長選挙によって選任されます。同窓会報では、学部長選挙の記事を掲載してきましたので、ご存じの方も多いと思います。これまで、理工学研究科委員長は学部長が兼任することになっていました。しかし、学部長および研究科委員長の業務が年々増える傾向にあり、一人の教員が両方を兼ねるということが現実的に難しくなってきました。そこで、理工学部・理工学研究科内の検討により、理工学部長と研究科委員長の業務(機能)を完全に分離させ、別々の教員が担当することになりました。今年度が機能分離の1年目となり、村上俊之教授が理工学部長、斎木敏治教授が理工学研究科委員長を務めております。



村上俊之理工学部長



斎木敏治理工学研究科委員長

変わった？変わらない？ 理工学部生の「今」を紹介

コロナ禍では難しくなりましたが、塾員の方々が矢上キャンパスに来訪されることがあると、皆さんとても懐かしそうに「この建物は昔のままだね」「あちらのグラウンドでソフトボールをしたのよ」と当時を思い出したり、「新しい棟が建って池も藤棚も無くなったんですね」「図書館がとても近代的。本を読むというより検索環境の整ったオープンスペースという感じ」と理工学部の変化に驚いたりしていました。そんな理工学部の今を手軽に覗ける「理工学部学生インタビュー」がこのほど完成し、理工学部HPから視聴できるようになりました。理工学部1年生～4年生がインタビューを受けて学生生活や勉学についてコメントする場面の間に、彼らの活躍する研究の様子や部活動の映像も流れます。もちろん学部の様子を高校生向けに紹介するためにできた動画です



が、コロナ禍の中、学業や課外活動に取り組みキャンパスライフを謳歌する現役生のリアルな声と学生生活の様子を知ることができます。

理工学部では、学生目線のインタビューやリアルな生活を動画にした様々なコンテンツを提供しています。「リアルキャンパスツアー」や「慶應理工.tv」の他、入学案内としての「よくわかる慶應理工」はインパクトのある画像と共に理工学部の研究をわかりやすく紹介しています。当時を思い出すツール、またはお子様やお孫さんと理工学部の今昔のお話の題材として是非ご覧ください。

<https://www.st.keio.ac.jp/rikou-tv/>

ライフアフターコロナ

最近になって再びコロナ感染が拡大し始めており、第7波の到来といわれています。しかし、これまでと様相が少し変わり、社会生活を維持していこうという機運が高まっています。学生たちに学会発表させるとき、これまでの2年間にはほぼオンライン開催での発表でした。今年になって、対面とオンラインのハイブリッド開催という学会が増えてきました。また、研究室で行っている輪講や研究打ち合わせなどもハイブリッド開催が増えています。

ハイブリッドの開催にもいくつかの方式があります。一つは発表者を対面とオンラインの二つに分けて、オンラインでの報告者にはビデオを提出してもらうというものです。対面とビデオオンデマンドを合わせた方式になります。予算的には安上がりですが、オンラインの発表者は臨場感のないものになります。もう一つは対面の発表者とオンラインの発表者が同一のネットワークで参加できるタイプのもので、Zoomなどのオンライン会議システムを利用した方法で、ハイフレックスと呼ばれています。最近の輪講や会議では、このハイフレックスという方式がよくつかわれます。輪講に対面参加できる人にはできる限り現地が集まってもらい、対面が難しい人はオンラインでつないで発表してもらいます。コロナ禍で工夫された方法ですが、いろいろと便利な面があり、アフターコロナの時代になっても利用されていくと思います。一つだけ難点としては、海外の国際会議で開催地との時差がある場合、真夜中の研究発表になったりすることです。国際会議のオンライン発表は、時差の少ない国で開催されるものが多いですね。

矢上賞と矢上賞(企業支援)

理工学部同窓生を対象とした賞として、矢上賞があるのはご存じの方も多いと思います。矢上賞は、卒業後に企業、大学、研究所などで目覚ましい活躍をしている方々を表彰するものです。矢上賞にはもう一つ、矢上賞(企業支援)という賞があるのをご存じでしょうか。矢上賞(企業支援)は、同窓生あるいは教員で起業されている方々の中で、今後が期待される方々を表彰するものです。すでに多くの業績を上げている同窓生と、まだ十分な業績ではないがチャレンジングな仕事に取り組んでいる人の両方に対して、同窓会は高く評価しています。

2020年度はコロナ禍のため、矢上賞・矢上賞(企業支援)の授賞式典を行うことができませんでした。そこで2021年12月11日に、2020年度と2021年度の授賞式典を合わせて行いました。詳細については、理工学部同窓会のWebページ内の次のURLをご覧ください。

<https://www.dosokai.st.keio.ac.jp/info/2021yagamiprize/>

矢上賞の授賞式典で受賞者の方々の講演を聞くと、慶應義塾の卒業生がいかに素晴らしい活躍をしているかがよくわかります。また、講演内容についても、若い学生たちに今後の参考になるように話をまとめていただいています。ぜひ、卒業間もない同窓生や現役の学生の方々は、授賞式典に来て講演会を聴講してください。

キャンパス入構時の体温測定

コロナ禍のため、理工学部キャンパスに入構する際に体温測定をします。14棟1階と地下1階にサーモグラフィカメラとモニターが設置されていて、入構者を撮影すると同時に体温が計測されモニターに表示されます。真夏の高温下を矢上まで歩いてくると、体温が少し高めに表示されるようです。



支部だより

関西支部

“コロナ禍”が始まってから2年半、長いトンネルの出口が見えてこない中、関西支部では唯一の活動として年2回若手会員を中心とした“テニス同好会”を開催しております。

今回68回目を迎えたテニス同好会は6月18日に西宮市にある“阪急仁川テニスクラブ”にて開催され、お天気にも恵まれて31名の方がテニスを楽しみながら親睦を深めて頂くことができました。

約40年前に『若手会員による活動の活性化』という目的でスタートしたテニス同好会ですが、そこに参加された方々がその後の関西支部の組織において重要な役割を担って頂いており、関西支部にとって無くてはならない存在となりました。これからは女性の参加者を増やすとともに世代の枠を超えた交流の場にしていきたいと思っております。

一方で“ゴルフ同好会”につきましても近年休止状態となっております。「コロナ禍で若い世代のゴルフ人口が増えた。」という情報も耳にしますので、テニスと同様に主要な活動の一つにしていきたいと考えております。

また“懇話会”につきましてもより多くの会員の皆さんに講演をお聞き頂ける様に『会場でのリアル参加+ZOOMでのオンライン参加』にトライしたいと思います。

来年3月11日(土)に予定されている“総会&懇親会”がリアルで開催できることを祈念して、私の支部活動報告と致します。

慶應 理工 関西 で検索クリック！

支部長 鈴木雅也 (37期管理)

東海支部

2021年度は、オンライン同窓会を思いっきり楽しんだ1年となりました。

11月には、システムデザイン工学科 西教授をお招きし、「実例に見るスマートシティ情報インフラとサービス・標準化」というテーマで、オンラインでご講演いただきました。東海地方の企業でも、スマートシティに取り組む企業は増えています。スマートシティ構築にあたって、まずは情報システムインフラの標準化を整備することが大切だということ学びました。

また、3月には関西・西日本・東海の3支部合同でのオンライン同窓会を開催しました。3支部幹事の声掛けの成果もあり、当日は44名にご参加いただきました。ご来賓の村上理工学部長と、3支部長(鈴木関西支部長、真島西日本支部長、鈴木東海支部長)を中心にとても楽しい

総会となりました。(鈴木関西支部長は、今年も赴任先の香港から参加してくださいました！)

コロナが終息した暁には対面での総会を開催します。笑顔で再会する日まで、オンラインでできる同窓会を模索していきます。

東海支部のWEBサイト (<http://www.k-tohkai.com>) or (**慶應 理工 東海支部**) で検索) に情報を掲載していきますので、ぜひご覧ください。

東海支部事務局 中部電力 橋爪雅人 (58期管理)

西日本支部

西日本支部では、今年の3月12日(土)に第29回支部総会をオンラインで開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大により2020年度は中止、2021年度は書面開催とした為、オンラインではありますが、3年ぶりの開催となりました。事前に東海支部、関西支部とも協議を行い、第一部は各支部で支部総会を、第二部は三支部合同で懇親会をオンライン開催することとしました。Web会議アプリを使用しての開催となりますが、オンライン開催に慣れない方のための接続練習会を事前に2回実施し、練習では手間取りましたが、本番では無事開催することができ、多数の会員の方にご参加頂きました。

第一部の支部総会では、会計報告と今回初めて開催したオンライン開催を含む支部規約の改訂について審議を行いました。第二部の三支部合同懇親会では東海支部幹事の皆様にリード頂き、ご参加頂いた村上理工学部長からご挨拶と大学の近況報告を賜り、落合同窓会長からはコロナ禍での同窓会支部活動への激励のお言葉をビデオメッセージで頂きました。その後の懇親会では少人数でのオンライン懇談を行い、日頃顔を合わすことの無い他支部の方々とは懇談しながら楽しいひと時を過ごすことができ、大変有意義な会となりました。本三支部合同懇親会の詳細な段取りを実施いただいた東海支部の方々には深く感謝いたします。

今年度西日本支部では、若い世代の方々に同窓会の活動を体験し、良さを知って頂きたいとの思いから、若手対象のイベントを企画・実施してもらおう若手リーダーの選任を行っています。西日本支部を十分知っていただき、支部活動を活性化していけるよう、役員・幹事一同今後の活動を進めてまいります。

西日本支部HP：<http://keio-alumni-west.holy.jp>

慶應 理工学部 西日本 で検索下さい。

上田洋三 (42期電気)

伝言板

● 機械工学科 (昭和 29 年卒) ●

卒業以来今年で 68 年を過ぎた。小金井の木造校舎で共に学んだ青春時代が懐かしい。存命する級友は全て 90 歳を超えて、余生を楽しむ世代に入っている。これからもお互い、他人に迷惑をかけず、明るく健康で残る日々を過ごしたいものだ。私はまだゴルフを続けクラブ競技にも参加している。今では百を切るのが目標、しかしなかなか上手くいかない。
(松尾芳郎)

● 応用化学科 (昭和 31 年卒) ●

コロナ騒ぎで 2 年以上が過ぎ、お互いに顔を合わせず音信不通となっています。そこで、4 月に現存する仲間 20 名に消息を照会しました。その結果、クラス会 (11 月予定) に参加出来そうなのは半数の 10 名、施設入居・歩行困難などが 4 名、返信無しが 5 名、そして亡くなられたのが 1 名でした。昨年 12 月に亡くなられた気賀祥太郎くんのご冥福をお祈り致します。コロナも第 7 波の気配で今年もクラス会開催は危ぶまれますが、米寿を過ぎてもお互い健康寿命を続けて再会を楽しみに頑張りましょう。
(柴田幸次郎)

● 電気工学科 (昭和 36 年卒) ●

偶数月開催の有志勉強会も 2006 年 12 月にスタートして、15 年続き、8 月には第 93 回を迎えました。奇数月開催のメルパルク昼食会もコロナに負けず、頑張って集まっていたがついに第 7 波には負けて、7 月 29 日は初めての ZOOM 開催になりました。80 歳の壁も半ばにさしかかりましたが、皆さん頑張りましょう。
(山田郁夫)

● 応用化学科 (昭和 38 年卒) ●

2019 年 12 月に中国の武漢で始まったコロナ禍でしたが、「C21 クラス会」も未だに延期状態が続いています。この秋頃には、そろそろ、マスクなしでリアルクラス会の開催で「ビールで乾杯!」と行きたい所でしたが、日本列島は、またまたコロナ禍の「第 7 波」に入ったようです。2020 年には「メール方式」による「C21 クラス会誌」(12 ページ)を発行して、紙上で旧交を温めました。その後「ZOOM 方式」による C21 有志 Web 交流懇話会を開催し、既に、10 回ほど行い、仲間の評判も上々です。卒業後約 60 年が経過し、皆 81 歳以上の高齢者となりました。その間「研究室持ち回り方式」で毎年開催されてきた伝統ある「C21・クラス会」も、その締めくくりとして、コロナ禍の終焉を迎えた暁には、「C21 全研究室リアル・クラス会」を盛大に開催すること楽しみにしております。
(岩尾信正、内田 宏)

● 管理工学科 (昭和 39 年卒) ●

コロナ感染により中止が続いた同期会ですが、政府によるコロナ対策で徐々に社会、経済活動が戻って参りました。私達も本年度同期会を 10 月 2 日(日)正午より慶大日吉「来往舎」にて開催予定で準備を進めて居ります。久しぶりの同期会には是非ご参加下さい。尚、コロナ感染の状況により中止の場合はその旨メール等でご連絡致します。
(幹事役 千住研 芝村)

● 管理工学科 (昭和 42 年卒) ●

今年は久しぶりにパーティー形式で実施を予定しておりますがコロナ蔓延が再度急拡大していますので幹事長安平次君を中心に下記 2 案で検討中です。決まりましたら各研究室幹事よりご連絡します。

- ①日時 2022 年 10 月 15 日 (土) 12 時から
- ② A 案 銀座三笠会館を候補にパーティー形式で実施。
- ③ B 案 ZOOM 形式で実施。

(金井一成 090-2527-5784)

● 全学科 (昭和 49 年卒) ●

32 期 Web ページの URL (アドレス) が変更になりました。ブックマーク等に登録されている方は「慶応工学部 1974」で検索して更新してください。

1974 年卒は卒 50 年を迎える再来年 (2024 年) 春には塾から入学式に招待を受けることとなります。関連行事への招待を受けるためには、今から、塾に現在の住所や氏名を届けておいてください。

32 期の同窓会活動は卒 50 年行事案内も含めて、Web ページとメーリングリストでお知らせします。未登録の方はこの機会に登録し、元気な姿で再会しましょう。

(落合正行、宮本博幸)

● 計測工学科 (昭和 57 年卒) ●

なんと、今年は卒業 40 周年です。コロナ禍ではありますが、40 周年記念の同窓会をやりたいですね。この学年は、学科単独ではなく全学科合同の同窓会を行うことにしています。幹事の手抜きということもありますが、学科を超えて、友人たちと会える方がいいですね。全学科世話人の中間君 (管理工学科) からも連絡があると思います。コロナに負けずに体調を整えておいてください。
(田中敏幸)

● 管理工学科 (昭和 57 年卒) ●

みなさんお元気ですか? 思えば、今年って僕らの卒業 40 周年なんですよ。ただの通過点とは言え、やっぱり、こういう節目を大事にして、同期の仲間と会いたいですよね? この 40 年目の年の間に、なんとかりアル同窓会を開きたい

と思っています。みなさん、それに備えてご自愛ください！
(全学科世話人 中間真一)

● 応用化学科 (昭和 58 年卒) ●

ようやくコロナも落ち着きつつある今日この頃ですが皆さん、お元気にされていますか？ 今年後半には是非「同期会」を開催すべく、大塚君・今井君・戸嶋君・宮阪君と連絡を取り合っ、進めたいと思いますので、乞うご期待！ 一方、メールアドレスを変更された方は、6daime.tonji@gmail.com 迄、御連絡下さい。(田中 巧)

● 計測工学科 (昭和 59 年卒) ●

計測工学科 42 期の皆さん お元気ですか？ 我々は、昨年度でほとんどの方々が、60 才以上を迎え、メールアドレスが変わってしまった人が多く、同窓会の案内が届かなくなる人が多くいらっしゃいます。新しい個人アドレスを淵まで連絡ください。

淵 アドレス masahiko.fuchi@gmail.com (淵 昌彦)

● 化学科 (平成 3 年卒) ●

化学科 7 期の皆様、こんにちは。昨年の連合三田会大会 (デジミタ) 当日、オンライン同期会に集って下さった皆様ありがとうございます。しつこいコロナ禍で、なかなか対面での同期会が開きにくい状況が続きますが、以前、「7 期」にちなんで「平成 7 年 7 月 7 日」に同期会を開いたことを思い出し、「令和 7 年 7 月」に同期会を開くことに決めました。この年の 7 月 7 日は月曜日で、ちょっと同期会は開きにくいので、日にちはまた相談して決めたいと思います。3 年後なら、さすがにコロナも大丈夫でしょう！ 可能なら、その前にもう 1 回くらい開けたら良いですね。(園田陽子)

● 管理工学科 (平成 6 年卒) ●

同窓会員の皆様、ご安全に！ご健康に！ いかがお過ごしでいらっしゃいますか。ハラスメントの無い職場づくりを試行錯誤しておりますが、悪戦苦闘しております。「ハラスメントを撲滅して業績向上に繋げよう」をスローガンにしてお

りますが、「良心、正しい心、思いやりの心」を一人一人が持って、アンガーマネジメントすれば、誰もが生き活きと働いているハラスメントから解放されたハラスメントフリーな職場になることを信じて、現場をよく見ながら、地に足のついた教宣活動を愚直に取り組んで参ります。こういった話題に興味のある方がおられましたらば、お声がけ下さい。

(高桑力也 takakuwa@MX-keio.net)

● 数理科学科 (令和 3 年卒) ●

みなさん、お元気ででしょうか。同窓会学年幹事の安部です。昨今はコロナ禍によって行動が制限され、また学業や仕事等でお忙しい日々を過ごされているかと思ひます。同窓会で皆さんとお会いできる日を楽しみにしております。(安部和真)

● 電気化学研究室 ●



令和 3 年も押し迫った師走、同窓会副会長を歴任された岸先生ご逝去の訃報が舞い込んできた。突然の知らせに混乱し、記憶が飛んでしまった。電気化学研究室を卒業したのは 40 年近く前である。コロナ禍のためこの 2 年は休会中であるが、14 年前より研究室 OB 諸氏が集い、年 3 回の頻度で「慶應電気化学研究会 (旧慶應電池研究会)」を開催している。毎回お元気な姿を拝見し、終始背筋の通った姿勢と言葉少なくも的確に論理立てて話される口調は、40 年前と何ら変わらなかった。真理を探究される厳格さと、学生・OB に接する鷹揚さも不変であった。先生の前では今でも学生に戻る。追悼の集いを企画中です。心よりご冥福をお祈りします。

(OB/OG 会 会長 42 期 竹井勝仁)

● 原稿募集のお知らせ ●

編集委員会では、広く同窓生の皆様の声をお寄せいただきたく、原稿の募集を行っております。テーマは特に限定いたしません。「会報原稿」投稿と表記し、①タイトル ②氏名 ③卒業期・学科 ④連絡先 ⑤電話 (FAX) 番号あるいは Email アドレス を明記して原稿をお送り下さい。投稿は郵便、ファックス、メールいずれでも結構です。投稿された原稿はお返しいたしません。また、採否は編集委員会にお任せ下さい。投稿をお待ちしています。(編集委員会)

名簿情報・登録内容の確認は『慶應オンライン』で



<https://www.jukuin.keio.ac.jp/kol/html/login/Login.html>

訃報・住所等変更は『塾員 (卒業生) ホームページ』へ



<http://www2.jukuin.keio.ac.jp/address/index.html>

2022年『理工学部同窓会 総会・特別講演会』Web開催のお知らせ

今年の総会・特別講演会は、10月16日(日)に慶應連合三田会大会サイト(デジミタ)の一角で、昨年同様、ウェブ上で開催いたします。

理工学部同窓会 総会・特別講演会

日 時：10月16日(日)

URL：<https://2022.rengomitakai.jp/>

講 演：慶應義塾大学教授・小池 康博(こいけ やすひろ) 君

1977年 慶應義塾大学工学部応用化学科卒業

1982年 慶應義塾大学大学院博士課程修了

1997年～2020年 慶應義塾大学理工学部 教授

2010年～2020年 慶應義塾評議員

2020年～ 慶應義塾大学教授(現在に至る)

専 門：世界最速プラスチック光ファイバー、高精細ディスプレイ等をはじめとするフォトニクスポリマー

主な受賞：2001年第42回藤原賞、2003年高分子学会賞、2006年紫綬褒章、2015年 Society for Information Display (SID) 2015 Special Recognition Award、2019年度高分子学会 高分子科学功績賞、2021年度高分子学会フェロー

スルガ銀行 ATM の稼働停止

矢上キャンパス24棟1階のセブンイレブン横に設置されていたスルガ銀行のATMが、2022年6月30日を最後に、稼働を停止することになりました。矢上キャンパスにセブンイレブンがなかったころからこのATMは稼働しており、同窓生の多くの方が利用したことと思います。現在はATMが撤去され、写真のような状況になっています。



慶應技術士会からのお知らせ

技術士制度の啓蒙と技術士業務の普及に寄与できるよう活動を行っています。2009年に設立し、現在194名(内賛助会員4名)の会員で構成されています。2022年度第14回総会を3年ぶりに、創想館フォーラムとWEB併用により開催しました。

社会貢献活動は、2021年度、新宿未来創造財団レガスサイエンス教室でのアルキメデスのポンプ、フラフープ人形、紙コップドローン、千葉市科学館主催の「フェスタ2021」では、ゴム動力ドローン、サイエンスアゴラ2021では、ユニバーサルジョイントを作る、の科学工作教室の開催、会員への情報提供は、見学会、学校との連携は、電子情報学科、物理情報学科での特別講義等の活動を実施しています。科学工作教室では、科学工作により子供たちに科学の面白さを伝えようと活動をしています。見学会、勉強会では、日本技術士会青年技術士交流委員会からの参加者を含めた見学と勉強会を計画しています。

技術士、技術士補、JABEE修了の塾員の慶應技術士会の活動へ

のご参加をお待ちしています。興味のある方、
当会ホームページよりご連絡ください。



当会ホームページ URL：<http://keiope.org/>

会員、入会申し込み

E-Mail：entry@keiope.org

会員宛メールの不達が確認されています。登録メールアドレスを変更した会員の皆様には、アドレス変更(確認を含む)

お問合せこのサイトについて、お問い合わせ・事務局への連絡

E-Mail：jimu@keiope.org URL：<http://keiope.org/>

慶應技術士会事務局

会計報告 令和3年度収支実績予算対比表

(令和3年4月1日～令和4年3月31日) (単位:円)

科目	予算額	決算額	予算差異 (決算 - 予算)
I 事業活動収入	36,500,000	36,920,000	420,000
1 会費収入	36,500,000	36,920,000	420,000
2 寄付金収入	0	0	0
II 雑収入	640,000	621,124	▲ 18,876
1 受取利息	0	774	774
2 頒布品販売収入	20,000	10,870	▲ 9,130
3 連合三田会大会大会券販売収入	600,000	600,000	0
4 その他	20,000	9,480	▲ 10,520
【収入合計】	37,140,000	37,541,124	401,124
I 事業活動支出	22,838,000	20,191,435	▲ 2,646,565
1 名簿関係費	7,400,000	6,636,630	▲ 763,370
2 会報関係費	4,450,000	3,534,313	▲ 915,687
3 奨学金事業	8,021,000	8,020,550	▲ 450
4 総会関係費	1,602,000	931,650	▲ 670,350
5 幹事会関係費	15,000	16,252	1,252
6 支部関係費	1,350,000	1,052,040	▲ 297,960
II 管理費支出	9,302,000	6,765,652	▲ 2,536,348
1 会費管理費	2,300,000	2,003,976	▲ 296,024
2 事務局関係費	5,445,000	4,761,676	▲ 683,324
3 予備費	1,557,000	0	▲ 1,557,000
III 奨学金事業積立支出	4,000,000	4,000,000	0
IV 名簿システムサーバー入替積立金支出	1,000,000	1,000,000	0
V 基本財産繰入支出	0	0	0
【支出合計】	37,140,000	31,957,087	▲ 5,182,913
当期収支差額	0	5,584,037	

令和4年度予算

科目	予算額
I 事業活動収入	36,500,000
1 会費収入	36,500,000
2 寄付金収入	0
II 雑収入	640,000
1 受取利息	0
2 頒布品販売収入	20,000
3 連合三田会大会大会券販売収入	600,000
4 その他	20,000
【収入合計】	37,140,000
I 事業活動支出	23,193,000
1 名簿関係費	7,400,000
2 会報関係費	4,450,000
3 奨学金事業	8,371,000
4 総会関係費	1,602,000
5 幹事会関係費	20,000
6 支部関係費	1,350,000
II 管理費支出	8,947,000
1 会費管理費	2,850,000
2 事務局関係費	5,011,000
3 予備費	1,086,000
III 奨学金事業積立支出	4,000,000
IV 名簿システムサーバー入替積立金支出	1,000,000
V 基本財産繰入支出	0
【支出合計】	37,140,000
当期収支差額	0

T O P I C S

矢上キャンパスにウォーターサーバ設置

理工学メディアセンター内および25棟入り口にウォーターサーバが設置されました。コロナ対策として、自分の水筒に水を入れて持ち歩く学生が増えています。また、コロナ禍ということだけでなく、今年は6月下旬に梅雨が明け、猛暑日が続いているため、熱中症対策としてウォーターサーバの利用者が増えています。メディアセンターにおける設置は、メディアセンター利用者のコロナ禍の熱中症対策ということですが、25棟入り口の設置は災害時対策の一環です。災害時用のウォーターサーバであっても、日ごろの利用がないと故障する可能性が高いということから、学生の利用が許可されることになりました。



メディアセンターサーバ (左)、25棟入り口のサーバ (右)

編集 後記

7月中旬、矢上キャンパスでウグイスの鳴き声が聞こえました。「ホーホケキョ」という独特の鳴き声で、一般的によく知られています。ウグイスは「春告鳥(はるつげどり)」とも呼ばれていて、春先に鳴いているのは何度も聞いたことがあります。「ホーホケキョ」と鳴くのは繁殖期の2月～7月半ばといわれているので、繁殖期の最後のさえずりだったのかもしれませんが。それにしても、異常気象のように気温が高くなっているのに、ウグイスは繁殖期のシーズンをちゃんと理解できているのですね。

同窓会報では卒業された皆様にとって興味のある最新の理工学部情報を知っていただこうと考えております。記事として掲載して欲しいとお考えのことがございましたらご遠慮なくご連絡下さい。編集委員会にて検討の上、可能なものは掲載したいと考えております。また、会報に対するご意見やご要望などございましたらご遠慮なく申し出下さい。

田中敏幸 (40期計測)